ブロックだより

東海ブロック総会（愛知県支部主催）

平成29年度東海ブロック総会は、愛知県が担当し平成29年10月14日(土)名古屋駅前の名鉄グランドホテルで開催しました。

総会は、愛知県支部会計の田中輝彦が進行役を務めました。来賓として、通信教育部校友会鈴木勝会長のご出席を頂きました。

隣接ブロック出席者は、近畿ブロック長兼大阪府支部長津村博文様、大阪支部監査水谷明子様、東海ブロック長兼三重県支部長大形弘様、静岡県副支部長石川貞夫様、副支部長小松征夫様、愛知県支部6名の計12名の出席で本総会は開催されました。愛知県支部田中会計の進行で、開会の挨拶に続いて、東海ブロック長大形弘様より挨拶、来賓として通信教育部校友会会長鈴木勝様より通信教育部の現状についてご報告がありました。

具体的には、平成29年度については、集夏祭に合わせて平成29年10月2日にホームカミングデーを行い母校の現在の姿を知ってもらい校友間の絆を深めることができたこと。校友会の財政面では、本年の校友会年会費の合計が100万円前後であること。平成29年3月の通信教育部の卒業生が96名であること。平成29年の市ケ谷の通信教育部に入学した1年生が114名増加したこと。それに対し、地方の学生数の減少に歯止めがかからないと。オール日大の卒業生が平成29年9月現在114万人、そのうち通信卒業生が34,651名であること。校友会会長としての活動として、年間15日くらい日本大学の会議や行事に出席して、校友会会員の意見を吸い上げてその場で大学に要望として伝えているとのことです。

その後、東海ブロック長兼三重県支部長の大形弘様の挨拶があり、どこの支部も高齢化が進んでいて3年後は存続が危ぶまれている状況になっています。愛知県では、5年前から忘年会限定で新卒業生に対し往復はがきでお誘いをしていて3名程新しい人が校友会に参加して2名程校友会員になっています。静岡県では新卒業生に対し会報と校友会費の納入の案内を送っているが、個人情報保護法が施行されてからは卒業生から住所をどこから入手したのか、迷惑だからもう送らないでくれと言われ、正直がっくりしているとのこと。引っ越しなどで届かないことも多く、苦労の割には全く新しい入会がなく苦戦されているとのこと。三重県に至っては、毎年の卒業生が何年も0名が続きく新しい入会もなく苦戦されているとのことでした。岐阜県については、本日支部長が先約があり、本総会が出席できません。ただ、2年前より支部長が藤澤さんに交代し若返ったのは、せめてもの救いです。

愛知と静岡は学生数が比較的多いので、学友と校友会の交流を活発にし卒業生が気軽に校友会に参加してもらえる環境つくりに努めることによって少しずつでも校友会員が増えていくと思います。

その後、静岡県副支部長石川貞夫氏より三島学習センターの指導員の増員について要望に対し、校友会長鈴木勝氏から回答がありました。具体的には、先日の日本大学の回答のとおり現状では、増員は考えていないとのことですが、別の形での解決策を今後検討するとのことでした。他の学習センターの現状は、大阪学習センターについては特に問題なし、兵庫県学習センターは閉鎖したとのことです。近年の学生数は、7割が東京・関東、残り3割が大阪・福岡・名古屋とのことです。メディア授業の学生が減少している一方で、市ケ谷移転により市ケ谷の学生数が増加しているとのことです。

最後に大形弘東海ブロック長の乾杯で参加者同士の親睦を深めていきました。今後の東海ブロックの益々の発展を祈念してお開きとなりました。

（文責　藤田　茂）

近畿ブロック総会（兵庫県支部主催）

10月29日(日)に台風22号接近の中(写真の参加者)姫路キャッスルホテルで16時から開催しました。

関正晴通信教育部長をはじめ鈴木勝校友会長、各県支部長ら17名でした。関部長は市ケ谷への校舎の移転や専任講師の充実で毎年500人の入学生の増になり、ポスターも載せている、と挨拶がありました。鈴木校友会長は各種対応に費用を捻出して校友会に活気を入れると挨拶がありました。お2人は新任の方々であり、スピーチも力のこもった内容でした。各支部は過去の苦労と将来への種、オール日大114万人の仲間たちとやっていこうとの開催者の挨拶に続き、自己紹介をし、総会を始め懇親会を開きました。

翌日はホテルバスで国宝姫路城と好古園の散策に出発しました。案内人には日大人のはまちゃんこと浜田薫氏にお願いしました。浜ちゃんの案内は瓦や石垣・城の色々なビュー、国宝の未来を支える職人達まで、6時間の語り部には大満足でした。次回また元気でお会いしましょうと言いつつ散会。

（文責　前田　忠義）

四国ブロック総会（徳島県支部主催）

平成29年度四国ブロック総会が11月21日午後徳島市内のホテルで開催された。

会は、本年5月に新しく校友会長に就任した、鈴木勝氏が就任の挨拶と通信教育部・校友会の現状の報告があった。

土井ブロック長の挨拶に続いて議事に入り、山崎愛媛県、高橋香川県、土井徳島県の各支部長及び和田高知県幹事長からの各県の支部活動の現状報告に基づき、各支部の校友会活動の発展及び活性化について、活発に討論した。

近隣ブロック代表の坂本中国ブロック長からも中国地方の校友会活動の現状とアドバイスを頂いた。

討論では、通信教育部開設後、60年以上を経過した今日、スクーリング期間の減少により、芸能祭や親睦旅行が実施されていないこと。さらに、入学生の6割が大学卒という現状から学友意識が希薄になり、学友及び校友会活動の低調の原因に成っている。

地方では卒業生の減少、校友の高齢化の中で、一部役員が校友会支部の灯火を消さないため色々努力していることが報告された。

今後は21世紀型の校友会のあるべき姿を若い校友を中心に確立する必要があるとの結論に至った。また、大学当局への要望として、地方での入学説明会の開催や高校への勧誘をお願いすることとした。

次期開催県の香川には、多くの校友と共に参加することを誓い、懇親会に移行した。

（文責　土井　榮次）

支部だより

埼玉県支部

日時
2018年4月21日(土)
総会
14時30分～15時30分
会場
さいたま市民会館
うらわ707号
2018年(2017年度)埼玉県支部総会次第
参加者　28名(内委任状17名)

司会　関口　武志（副支部長）
1　開会のことば
2　校歌斉唱　全員
3　支部長挨拶　南雲　功（支部長）
4　議事
第1号議案
2017年度事業報告
南雲　功（支部長）
（抜粋）

②2017年4月22日(土)
2016年度埼玉県支部総会
③2017年4月22日(土)
文化講演会（森中博士）・懇親会開催
⑥2017年10月9日(月)
埼玉県支部第4回文化講演会開催
⑩2018年1月20日(土)
埼玉県支部新年会
第2号議案
2017年度決算報告
鎌子　健（会計）
2017年度会計監査
代理・鎌子　健（会計）
第3号議案
2018年度事業計画（案）
南雲　功（支部長）
（抜粋）
①2018年4月21日(土)
2017年度（2017年4月1日～2018年3月31日）埼玉県支部総会
②2018年4月21日(土)
歴史散策・氷川神社と埼玉県立博物館、懇親会
⑥2018年10月中旬
埼玉県支部
文化講演会開催予定
⑩2019年埼玉県支部新年会
第4号議案
2018年度予算（案）
第5号議案
2018年度支部役員
支部長（幹事長兼務）　南雲　功
副支部長　関口　武志
会計　川島　和美
鎌子　健（本部対応）
会計監査　吉田　昌弘
鬼久保貢合江
幹事　五十嵐美奈（副幹事長）
その他報告事項
上記提案通り承認された。
6　閉会のことば
工藤　豊治（相談役）
7　記念写真
（文責　南雲　功）

九州ブロック総会（熊本県支部主催）

平成29年度の、日本大学通信教育部校友会九州ブロック総会を、10月21日(土)午後4時より、熊本県湯前町のゆのまえ温泉「湯楽里(ゆらり)」で開催しました。県南部に位置する人口僅か4千人位の田舎町を会場としたため、出席者に迷惑をかけたと思います。(支部長居住地)

総会には、本部から鈴木孝司副会長、県からは日大校友会の別当公一支部長をお迎えし、各県の支部長や本県の校友等19名の出席がありました。

松尾ブロック長・荒木熊本県支部長(歓迎)のあいさつの後、鈴木副会長、別当支部長に来賓あいさつを賜り協議事項に入りました。

鈴木副会長による、校友会本部近況報告(役員改選の件等)の後、各県支部の活動報告がなされ、各県共通の悩みとして、会員の減少と高齢化が話しとして多く出たようでした。

総会終了後懇親会があり、舞台付の大広間で校友や地元の人たちによる余興等で大変な盛りあがりでした。

（文責　荒木　利八）

東海ブロック総会開催のご案内

■日　時
平成30年10月21日(月)
15時～16時
■場　所
桑名市精義公民館
（桑名駅より徒歩5分）
■懇親会
午後5時より
桑名駅前「歌行燈」
■会　費　7000円
■担当県　三重県
（文責　大形　弘）